

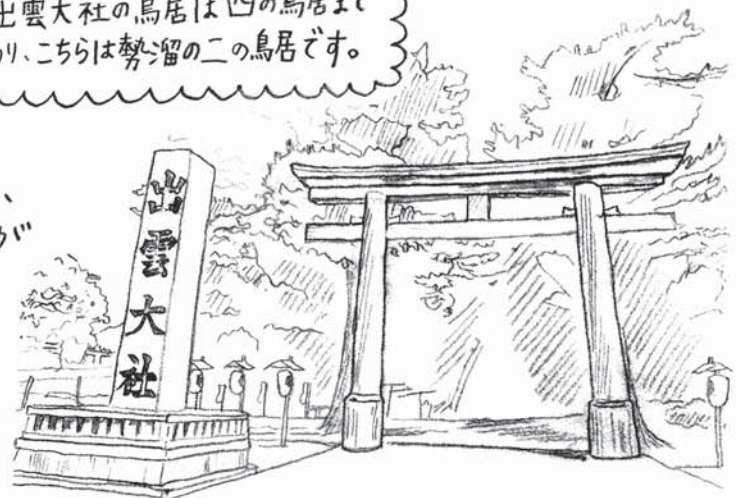
今年の冬は雪がよく降り、とても寒かったですね。
立春が過ぎ、寒さも緩み日増しに暖かくなり、少しずつ春の訪れを感じるようになってきました。
みなさま、いかがお過ごしでしょうか？
「ふく福通信」も今回で44回目を迎えました。今年も情報満載でお届けしますので、どうぞ宜しく
お願い致します。新年最初の春号です！ぜひ、最後まで「お楽しみくださいませ。

●祝☆神門通り100周年

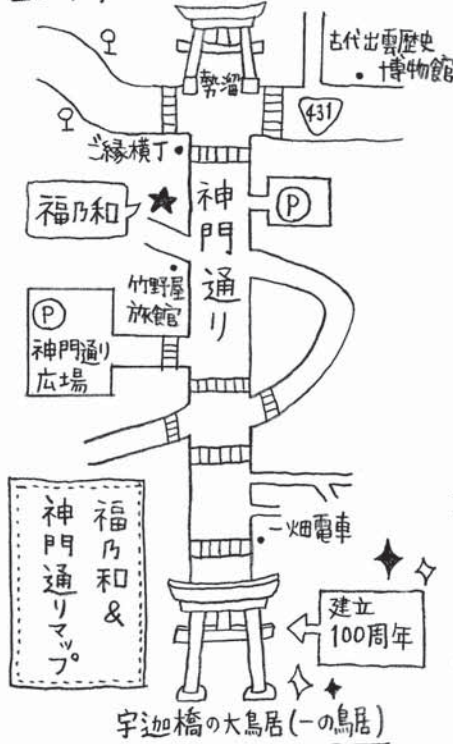


出雲大社の鳥居は四の鳥居まであり、こちらは勢溜の二の鳥居です。

昨秋、11月7日、神門通り・宇迦橋の大鳥居が先に100周年を迎えました。神門通りには、大正4年11月、大正天皇の即位大典にあわせ、勢溜の大鳥居を真っすぐ見通す事のできる、宇迦橋のもとに大鳥居が建立されました。同時に出雲大社への新たな参詣道の名を、第80代出雲国造千家尊福公(せんげたけとみ)様により「神門通り」と命名されました。



← 至日御崎 (二の鳥居) ↑ 出雲大社参道



昨年は「神門通り」と命名されてから100周年という節目の年。様々な100周年を記念したイベントが年間を通して催されました。100周年記念事業として、神門通りおもてなし協同組合は、8月に「神門縁日・キャンドルナイト」を出雲青年会議所と共同主催。

当日は夕方より生憎の雨でキャンドル点灯は出来ませんでした。今後に繋がる良い縁日となりました。9月にはタカラトミーとコラボした「縁結び人生ゲーム」を開催。

神門通りの各店が人生ゲームのマスになるリアル版人生ゲームは、沢山の家族連れの方々にとても賑わいました。

そして、11月7日には100周年を記念したセレモニーが行われ、旧大社駅から勢溜までのパレードはもの凄く盛大でした！パレードは、市内高校のマーチングバンドを筆頭に花嫁と花婿を乗せた人力車や、2人で100歳のご夫婦を乗せたバンリのオープンカー。ハーレーや吉兆さん等々。

記念すべき式典の日には、沢山の皆さんに祝われ、皆さんの記憶に残る神門通り100周年となったのではないのでしょうか。今後とも神門通りの益々の発展に協力し、また、願っていきたいと思います。

スタッフ紹介



本店販売スタッフ：立脇

★ オススメ商品
いかの塩辛
ご飯がすすむ味が好きです。

★ これからの目標
大きな声でテキパキと、お客様に丁寧な接客を心掛けていきます。

和田珍味本店17周年感謝祭のご案内

おかげさまで和田珍味本店はオープンして17年になります。日頃のご愛顧頂いている皆様へ感謝の気持ちをこめて、3月19日(土)、20日(日)、21日(月)に17周年感謝祭を行います。ふぐ鍋汁のおもてなしや、名物ふぐめしの限定販売、お楽しみ抽選会など、たくさんのイベントを行いますので、ぜひお誘い合わせの上、お越しください。スタッフ一同、お待ちしております。

ふぐの身入りのふぐ鍋汁は
タシがきいてとっても美味しいよ♪



2月9日はふくの日



ふくは「ふく」とも呼ばれることから「福」につながるたいへん縁起の良い魚と言われています。今年も和味珍味本店では2/9、10、11日の3日間「ふくの日フェア」を開催しました。フワフワのふくの身が入った「ふく鍋汁」のおもてなしや、お餅にふくの焼印が入ったぜんざい、ふく一夜干の試食など、大変好評で、ふく鍋汁を召しあがられたお客様から「体があつまる」「ぜんざいもおいしかった」など嬉しいお言葉を頂きました。今後またたくさんのイベントを企画しておりますのでぜひご来店下さい。スタッフ一同お待ちしております。

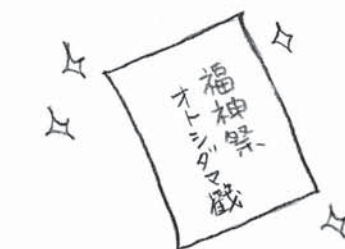
国の重要無形民俗文化財「五十猛のグロ」

今年も1月11日から15日まで五十猛漁港の一画に「五十猛のグロ」が立ちました。五十猛町に伝承される小正月の行事で竹などを材料に直径10m程の円錐状の仮屋を設け歳徳神を迎え一年の豊漁や無病息災などを祈願します。仮屋の中には囲炉裏が三ヶ所あり4日間火を絶やすことなく燃やし続け、地域の人々が食料や干魚などを持ち寄り囲炉裏を囲んで歓談して過ごします。その火で焼かれたものを食べると、その年は病気にならないと言われています。そして14日の夜には「神送りの神事」が執り行われます。翌15日には各家が持ち寄った正月飾りと共に燃やされ行事は終わります。毎年1月11日から15日までの行事ですので興味ある方は是非お越しください。

和味珍味スタッフもご案内させていただきます



約600人～700人の方が参加されます



新年のお福・良縁を授かる、出雲大社の福神祭

「福和」があります大社町の出雲大社にて、2月8日午前1時「福神祭」が執り行われました。「福神祭」とは、旧暦の大晦日から元旦にかけて、大勢の方が夜通し大社の神楽殿にお籠りし、福の神として崇敬される大国主大神さまから、新年のお福、良いご縁を頂くお祭りです。福和からもスタッフがこの福神祭に参加しましたので、その様子をご紹介します。旧暦大晦日の2月7日夕方頃から、神楽殿の大広間に人が集まり始めます。地元の方のみならず、日本全国からも多くの方が参列し神楽殿はたちまち人であふれかえりました。年が明け、旧暦元旦の2月8日子の刻(午前1時)になるといよいよ福神祭が始まります。はじめにお祓い、次に大国主大神さまに感謝する謝恩詞(しゃおんじ)が奏上され、祝詞の奏上、管長による講話、と神事は進んでいきました。そして神事が終わるやいなや、神楽殿に張り巡らされていた注連縄の紙垂(しで)の取り合いが始まりました。この紙垂を頂くと今年一年の五穀豊穡、家内安全のご利益があるとされています。最後に「福神純金御像」などの福神御像(金・銀・銅・木)が授与される「福授け抽選」が行われお祭りは終了しました。一晩徹夜をするところは大変ではありますが、他ではなかなか味わえない楽しいお祭りです。皆さんもご縁がありましたらぜひ福神祭に参加されて、新年の福縁を授かってください。

お客様の声

いつも貴重なご意見・ご感想をありがとうございます。みなさまのお声が私達の励みとなっています!!



ふくぞうすいスープ 群馬県:本間様

ふく味酢林干 埼玉県:高山様

うす煮 大阪府:大島様

知人が今年6月に大田市に引越し、貴社商品を送って頂きました。書かれているレシピでぞうすいを食べましたが、とても美味しかったです。貴社HPを拝見したら、スープ煮も炊くのもありということで、やってみたいと思います。

とてもおいしかった、軽くあぶって食べましたが、思った以上に、身がしっかり、旨味があり、満足のおいしさでした。日本酒がすすみます。

包装が上品で、すごくいいです。ふくの味がすごく染み出ているとおいしかったです。また、出雲に行った際に買って帰ろうと思っております。



ふくぞうすいスープで作るふく飯は、あっさりとして、何杯でも食べられます。

あぶる事で風味が増しお酒のお供には最適な一品です。



お守りをイメージした包装はお土産に大人気です!

編集後記 最後までお読み頂き、ありがとうございます!

年明けから寒い日が続きましたが、長い冬も終わり、ようやく暖かい春がやってきますね。お正月の季節ですネ!

新キャラ



石見 和味珍味

フリーダイヤル 0120-000-785

〒694-0051 島根県大田市五十猛町1559-3

TEL: 0854-87-0611 FAX: 0854-87-0844

和味珍味 又は 福和

検索